

「株式市場構造 統合ハブ」—— 見えないリスクを可視化する

提示されたパズルをどう組み立てるかは、あなた次第。



コンセプトと4つの約束



独立・非営利

投資助言や特定の商品の推奨は
行いません。



広告なし・完全無料

スポンサーの意向に左右されない
純粋なシミュレーター。



暴落煽りなし

恐怖を煽るのではなく、構造的な
テールリスクを客観的に検証します。



視聴者の判断を尊重

私たちはパズルのピースを提示します。
最終的な判断はご自身の責任で。

※本ハブは教育・研究目的のシナリオシミュレーターです。将来予測のクリスタルボール（水晶玉）ではありません。

3つの視点で市場の深層を覗く



Market Structure Monitor

オプション市場（0-DTE）と機関投資家のヘッジ行動が引き起こす「ガンマ・スクイーズ」の構造。



パッシブの歪み×マージンコール

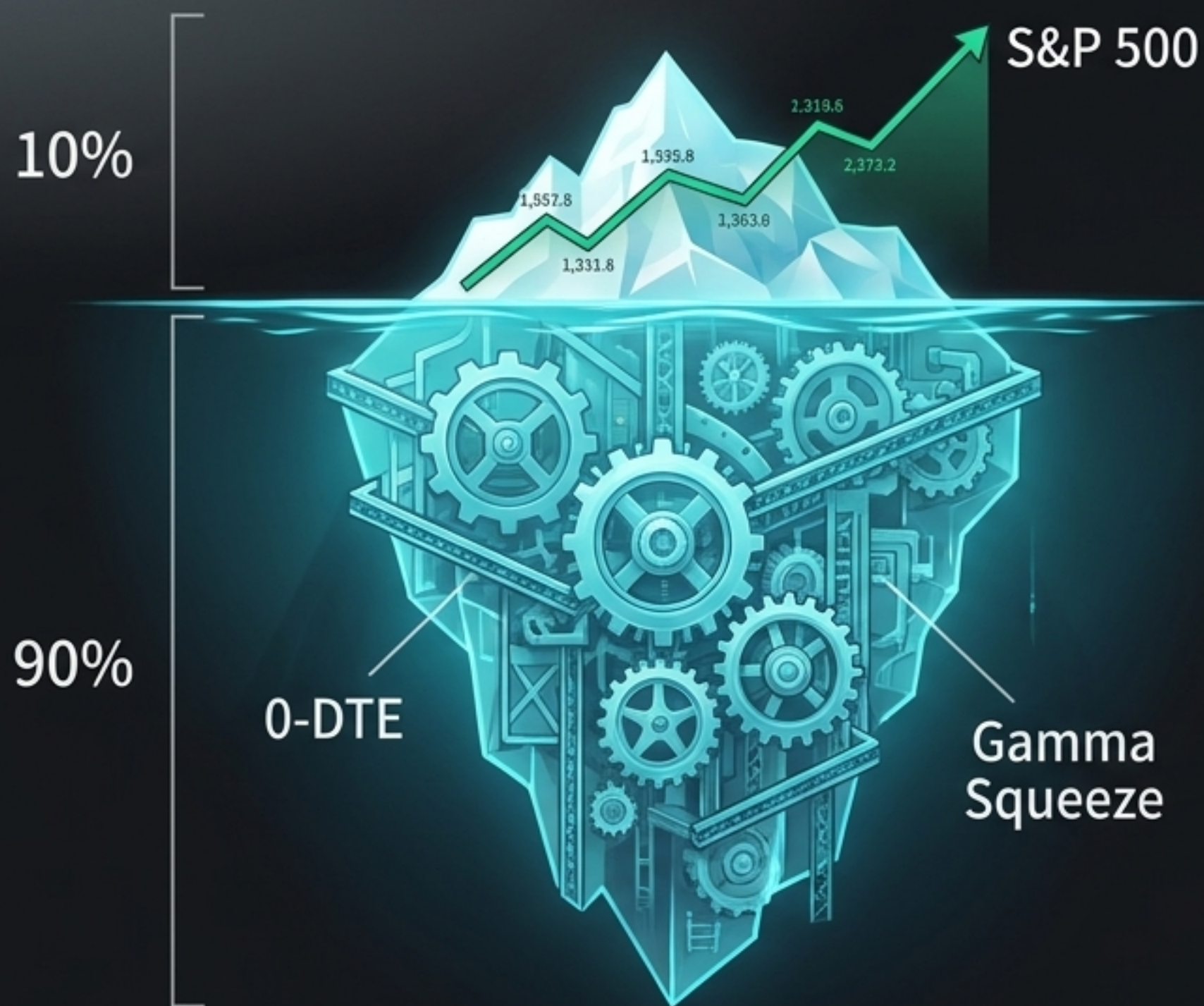
インデックス投資の拡大と強制現金化圧力が連鎖する、非線形な流動性リスク。



雇用統計「速報値と確報値の罫」

アルゴリズムが反応する「速報値」と、後日静かに修正される「確報値」の構造的ギャップ。

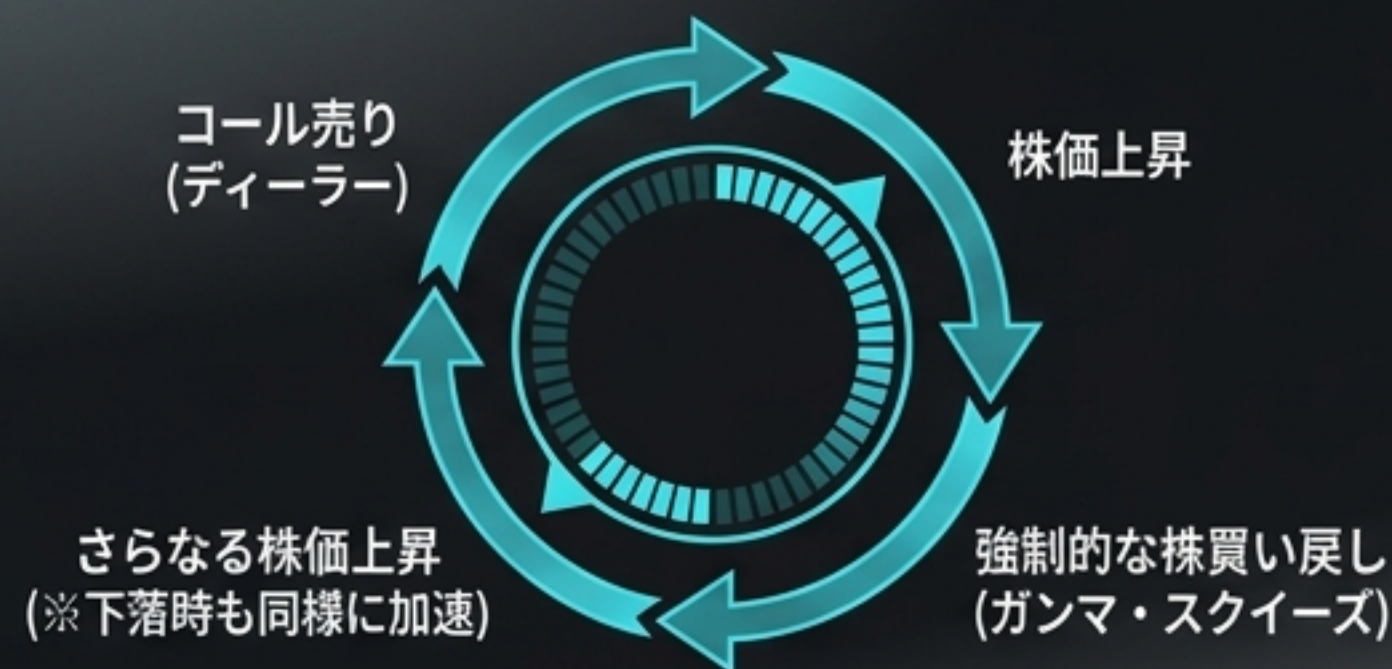
見える株価、見えない構造 (Market Structure)



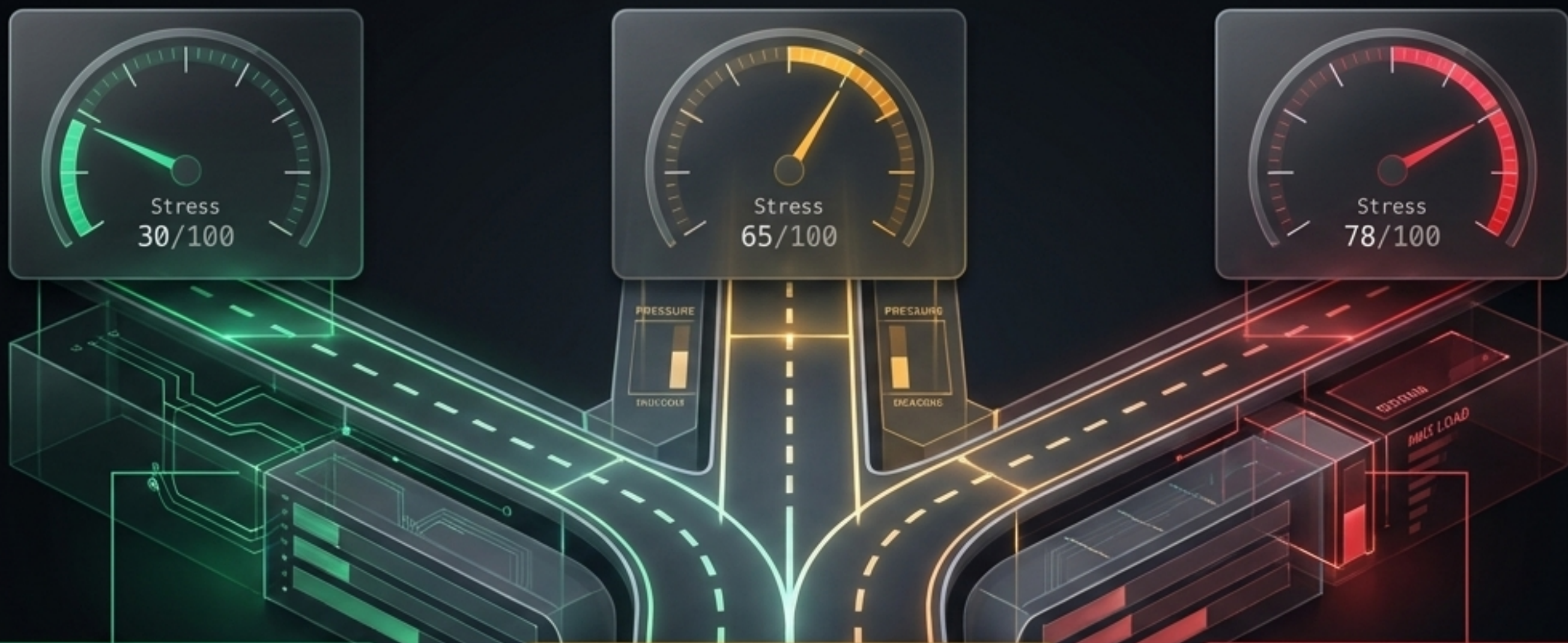
0-DTE比率 約89%: 当日満期オプションが市場の約9割を支配。日々の値動きを極端に増幅する構造変化。

実態との乖離幅 +38%: 実際の業績成長から見てS&P500が約38%割高に取引されている可能性（試算）。

非対称なヘッジ比率: 機関投資家がダウンサイドヘッジを増やす一方、個人投資家のヘッジ保有率は推計わずか「3%」。



3つの未来シナリオ（コース診断）



積立・ほったらかし

現状維持を想定した最も穏やかな基本コース。

インフレ対抗・成長株

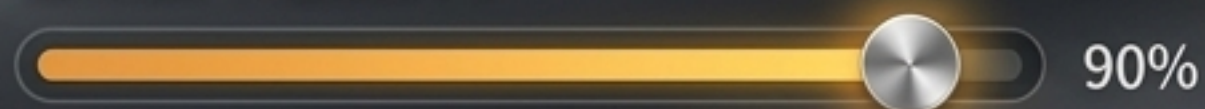
金利上昇により、グロース株が相対的に大きく調整するリスクを想定。

バーゲンセール・買い増し

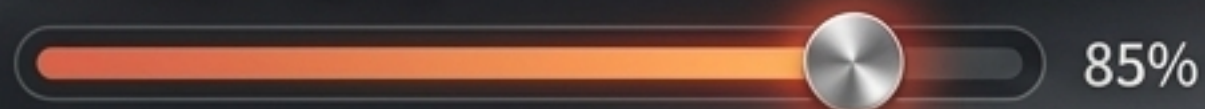
市場流動性が急低下し、0-DTEのヘッジが売り圧力を強烈に増幅させるテールリスク・シナリオ。

パッシブの歪みとマージンコールの連鎖

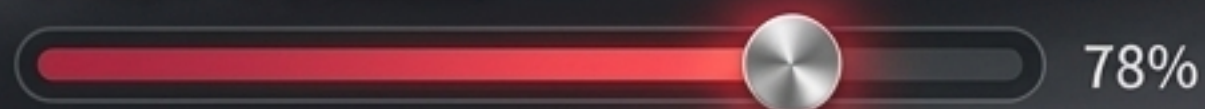
ロックアップ解除圧力：信託期間終了による
強制売却資金の比率。



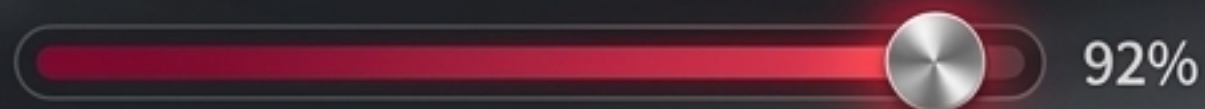
パッシブ市場占有率：指数連動・自動売買が
市場を占める割合。



マクロ複合ストレス：中東原油や日銀利上げなど
の外部ショック強度。



強制現金化圧力：税金や決済期日が生む機械的な
売り圧力。



⚠ パラメーターの単純な足し算ではありません。強制売却圧力が「75%」を超えると、総合スコアとは独立して市場流動性が強制的に「枯渇」表示に切り替わります (Forced Liquidity Override)。



市場流動性 (Liquidity) 枯渇 (DEPLETED)



3つの警戒ゾーン（流動性ストレス）



RED（緊急圏）

比喩: バーゲンセールで大パニックが起き、中央食糧行が「シャッター」を下ろし始める状態。
実例: 2024年8月5日の急落（追証・マージンコールの連鎖）。

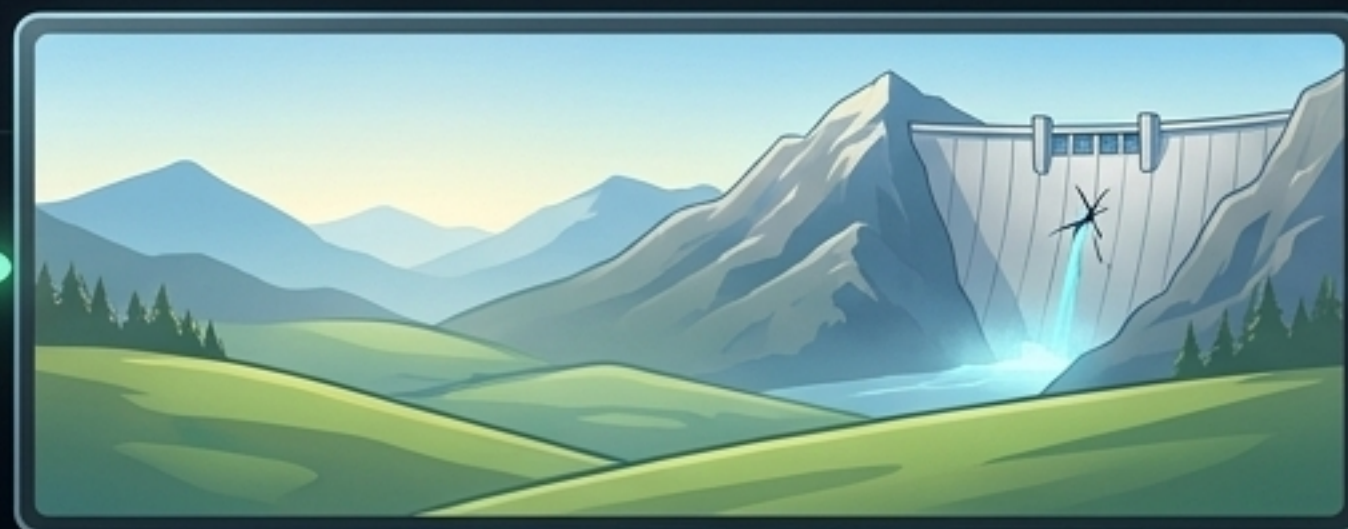
pressure: 33.69% pressure: 129.59%
pressure: 28.53% pressure: 125.59%



YELLOW（警戒圏）

比喩: 特売日でレジが1台しか空いておらず、床がきしみ始めている状態。
状態: 売り圧力に対して、市場の買い手（流動性）が不足し始める段階。

Pressure: 23.57% Pressure: 23.53%
pressure: 23.52% pressure: 26.37%



GREEN（平常圏）

比喩: 穏やかな晴天だが、遠くの山でダムが決壊しかけている状態。
状態: 表面上の市場は平穏。しかし水面下でリスクが蓄積中。

Pressure: 22.65% Pressure: 31.55%
Pressure: 21.05% Pressure: 31.55%

米雇用統計「速報値」と「確報値」の罠

ニュースが熱狂する「速報値」



特徴：アルゴリズムが1秒以内に自動反応。
市場の初期パラボリック・ムーブを形成。

数ヶ月後に静かに修正される「確報値」

実データ（2025年 年次ベンチマーク改定）

暫定値（2025年9月）：-911千人

確定値（2026年2月・季節調整済）：-898千人
（未調整ベース：-862千人）

問題点：巨額の下方修正が公表される頃には、アル
ゴリズムの関心はすでに次の速報値へ移っている。

調査手法の限界（なぜデータは乖離するのか？）



1. ダブルワークの重複（二重カウント）

構造：1人が2つの職を持つと、事業所調査では過大評価される。

実データ：複数就業者数は 896.6万人（2025年12月、全就業者の5.5%）。



BD Model

2. BDモデル（Birth-Deathモデル）の推計不確実性

構造：全企業のリアルタイム集計は不可能なため、「新しい会社がこれくらい生まれているはず」という過去の傾向（ゲタ）で統計を補完。

罨：景気の「**転換局面**」において、過去の楽観的な傾向を引きずるため、実態との**巨大な乖離**を生み出す。

スピードメーターとギアの比喻（実質雇用トレンド）



スピードメーターの数字（速報値）が
威勢よく高くても、実際のギア（実質値）が
入っていなければ、車は前に進んでいない。

[+]

速報値の
表面値
(The Illusion)

[-]

過去12ヶ月の
平均下方修正幅
(The Historical
Reality)

[-]

BDゲタ調整
インパクト
(The Statistical
Correction)

=

実質雇用トレンド
(The True Gear)

通常モード (GREEN):
表面上も実質も堅調。

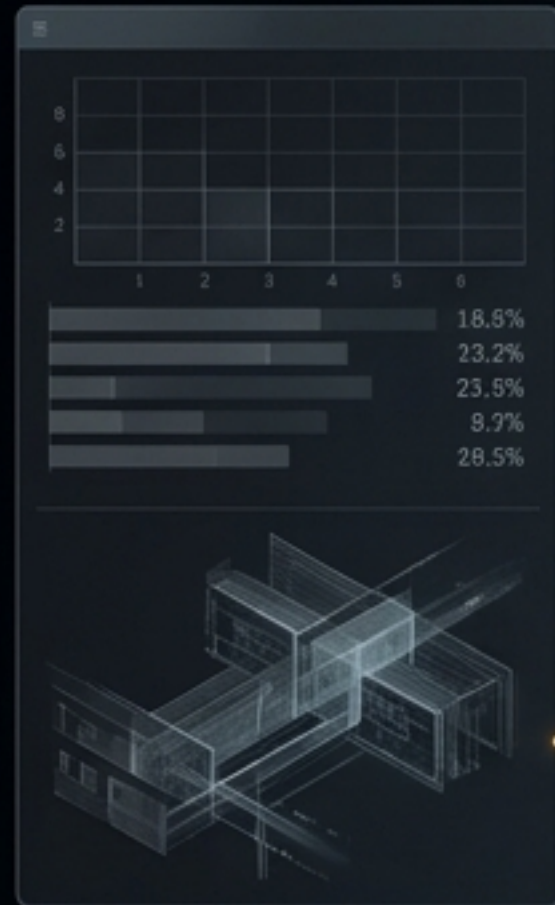
修正リスクモード (YELLOW):
実質値は横ばい〜鈍化へ。

速報の罠シナリオ (RED):
速報はプラスだが、実質はマイナス圏へ転落。

表面上の認識 vs 構造的リアリティ

[指標/テーマ]	[Surface Reality (メディア・一般認識)]	[Structural Reality (TK MAXの視点)]
オプション市場 (0-DTE)	「一部の投機的なニッチツール」	「市場シェア89%。ガンマ・スクイーズを通じた相場全体のボラティリティ増幅装置」
パッシブ・ インデックス投資	「安全で確実な、ほったらかし投資」	「流動性低下時にマージンコールと連鎖する、非線形な強制売却リスク」
米雇用統計 (ヘッドライン)	「力強い雇用増（速報値）」	「後日の巨額な下方修正（-911千人）と、BDモデル・二重カウントによるゲタ」

点と点が繋がる時：複合リスクのメカニズム



A1	28.509	46.339	179.694
A2	24.503	26.053	126.219
A3	42.796	45.935	339.299
A4	32.998	55.814	111.679
A5	16.608	26.213	32.839

	Nlre	Roeust	Rocoftee
AtW	59,000	0.79	79.46
MIN	36,668	0.23	98.35



備地増設	10.954	83.490
ラセル増設	13.350	39.397
増地の仕値	38.370	139.592
減資増設増設	39.878	0.0067

あなたのコントロールパネル（シミュレーターの操作）

数値を動かし、限界点を知る: ✈️

本ハブはインタラクティブな
「フライトシミュレーター」です。



🔧 パラメータの操作:

ロックアップ解除圧力、BDモデル
のゲタ調整幅などをスライダーで
自ら変更可能。

📄 シナリオのテスト:

流動性が「枯渇」に切り替わるトリ
ガーポイントや、実質雇用トレンド
がマイナスに転じる瞬間を、あなた
自身の手で検証してください。

最終的な判断は、あなた自身で



統計修正は上方にも下方にも
起こり得ます。

0-DTEやパッシブ運用は市場の
効率性を高める側面も持ち
合わせています。

本ハブは、見落とされがちな「構造的な
テールリスク」に焦点を当てたもので、
す。特定の月の予測や投資判断を示す
ものではありません。

すべてのデータとシミュレーションは、あなたの思考の補助線です。
このパズルからどんな未来を描くかは、視聴者であるあなたの判断を尊重します。

統合ハブへアクセスする



Web Dashboard:

<https://tk-max-site.vercel.app/>

X (Twitter) Updates:

@TK_MA55 (https://x.com/TK_MA55)

Contact / Inquiries:

tk_max@ymail.ne.jp

完全無料・広告なしで全機能をご利用いただけます。